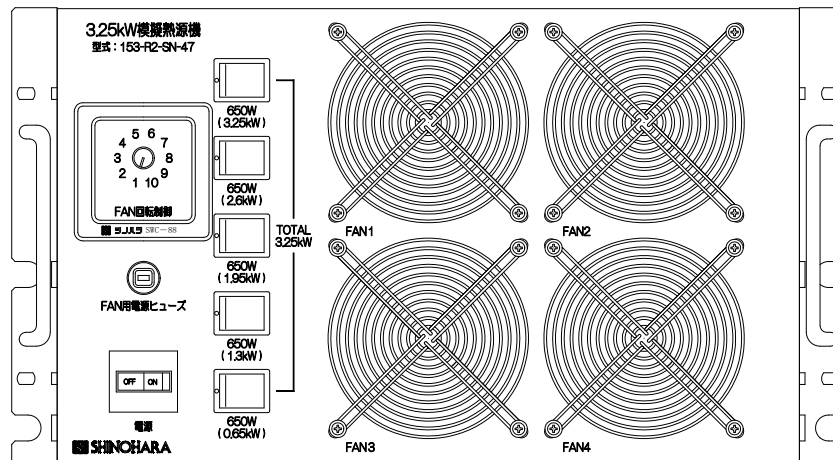


取扱説明書

3. 25kWサーバ模擬熱源機

型式：153-R2-SN-47



このたびは3. 25kWサーバ模擬熱源機をご購入いただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

 警告	取り扱いを誤った場合に死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
 注意	取り扱いを誤った場合に軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のおそれがある場合を示します。

※なお、“ 注意”に記す事項でも、場合によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■施工上のご注意

 警告
◎分解、改造や本体へ穴あけなどの二次加工はしないでください。 故障、感電、けがの原因になります。
◎電源用リセプタクルはNEMA L6-20Rを用意して接続してください。 発熱、火災、感電の原因になります。

 注意
◎熱源機を持ち上げる際は必ず2名で熱源機本体前後の取っ手を持って行ってください。 1名では腰や背中を痛めるか肉離れのおそれがあります。また落下による破損、けがのおそれがあります。
◎使用するネジなどは付属品を使用してください。 取付けに際して、ネジを適正締付トルクにて締付けてください。 締付けが不十分な場合、破損、落下などの原因になります。 また、締付け過ぎの場合は製品を破損するおそれがあります。
◎ぶつけないようにしてください。破損のおそれがあります。

■使用上のご注意

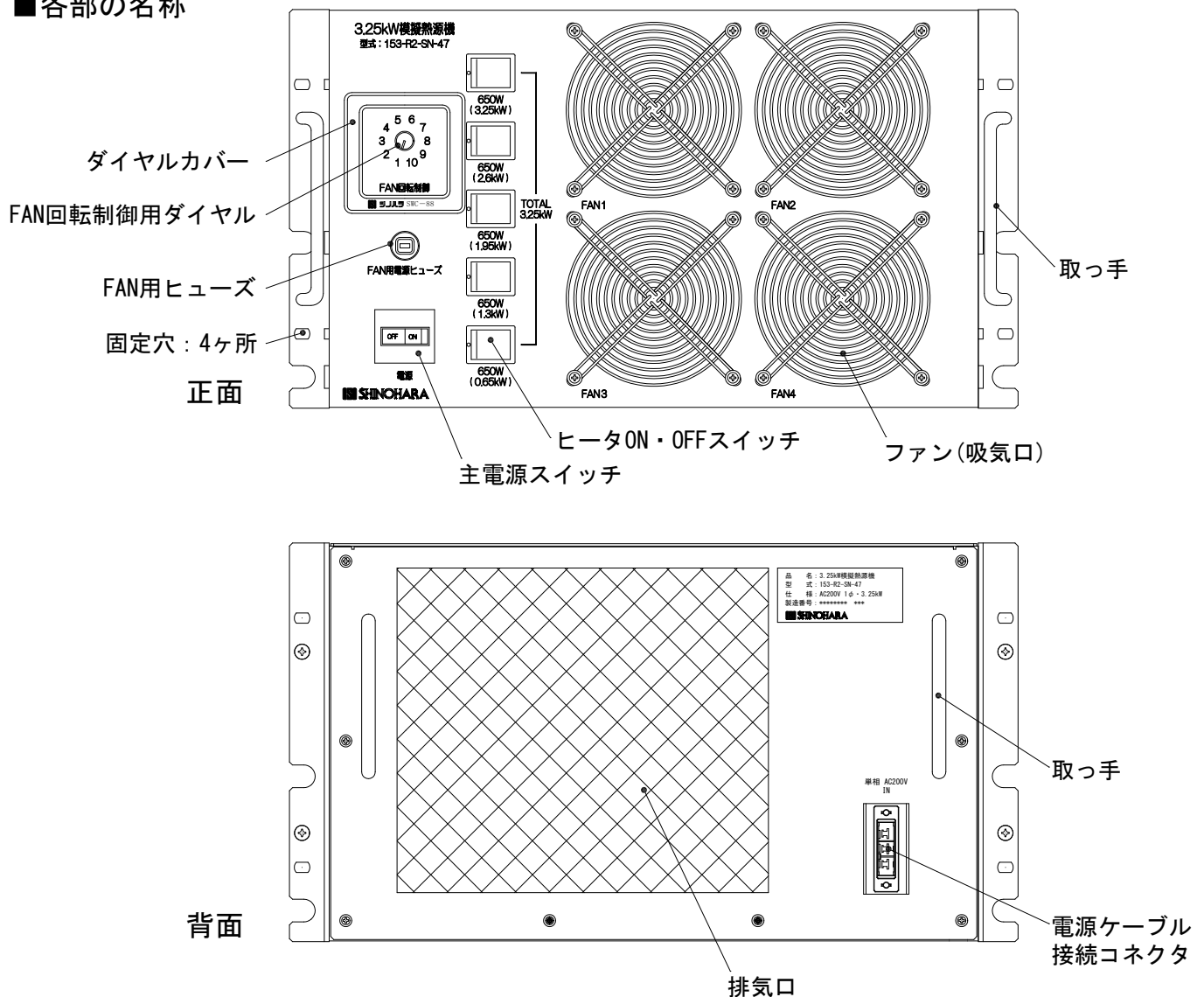
⚠ 警告

- ◎ファン回転部には指、工具、異物などを絶対に入れないでください。また、ファンに巻き込まれないようファン付近には物を置かないでください。故障、感電、けがの原因になります。
- ◎定格電圧でご使用ください。使用電圧は単相AC200V±10%です。故障、感電、火災の原因になります。
- ◎本製品の故障が原因で人命並びに社会的に重大な影響を与えるおそれがある場所には使用しないでください。
- ◎通電中は電源線に触れないでください。感電のおそれがあります。
- ◎高温・高湿となる環境、腐食性ガス、可燃性ガスなどを有する環境、塵埃やオイルミストが極度に多い環境下では使用しないでください。
- ◎濡れた手で操作しないでください。故障、感電の原因になります。
- ◎異常時（焦げ臭いなど）は電源をOFFにして、運転を停止してください。感電、火災の原因になります。

⚠ 注意

- ◎通電中は正面パネル以外は触らないでください。高温のためやけどのおそれがあります。
- ◎精密機器ですので振動、衝撃などを与えないでください。故障の原因になります。
- ◎高温・高湿となる環境、腐食性ガス、可燃性ガスなどを有する環境、塵埃やオイルミストが極度に多い環境下では使用しないでください。
- ◎本品はサーバ模擬熱源機です。目的以外の用途には使用しないでください。

■各部の名称



■仕様

定格電圧	単相AC200V±10%
定格発熱量	最大3.25kW・・・650Wヒータ×5本内蔵 650Wヒータ1本ごとにON・OFF設定可能。
定格電流	最大17A
外形寸法	巾482.6mm×奥行540mm×高さ264mm（6U） ※取っ手、ネジなどの突起を含まない寸法。
材質	外装：鋼板製
本体質量	30kg

■付属品

名称	数量
電源ケーブル（3m）	1本

■構造

本製品は、発熱体の650Wシーズヒータを5本、冷却用のファンを4台、ファン回転制御機能、温度過昇防止用サーモスタットで構成されています。

また、主電源をOFF後は排熱を促すためにファンが2分間回り続けます。2分後にファンは自動でOFFになります。

■用途

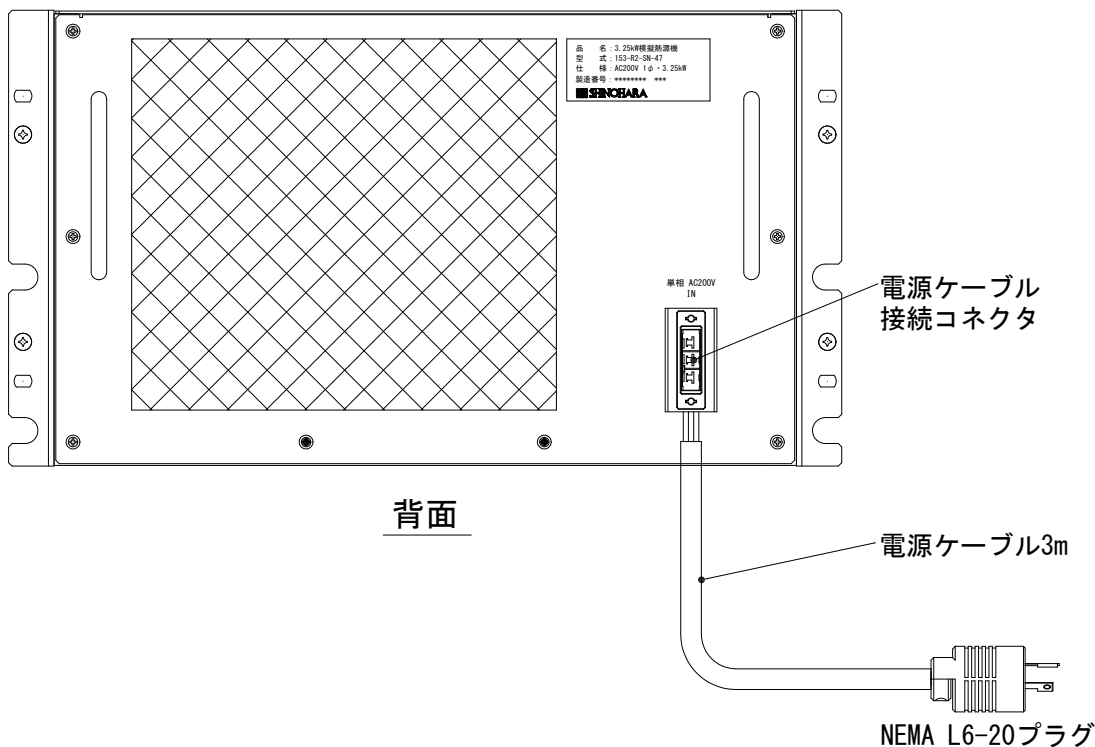
サーバラック内の総発熱量と給排気の温度上昇値 Δt を設定し、コミッショニング試験を行うことによって、空調システムやラック冷却の最適な運用制御ができます。

■電源ケーブル

◎熱源機本体背面の電源ケーブル接続コネクタに接続して下さい。

「カチッ」とロック音がするまで差し込んで下さい。

	メーカー	品番
熱源機側	TycoElectronics	D-5200S
電源側	明工社	MH7172B (NEMA規格L6-20)



■主電源の投入

- 手順1. 電源ケーブルのプラグをお客様側設備のNEMA L6-20Rに接続してください。
手順2. 熱源機本体正面の主電源スイッチをONにしてください。
ファンが回転しますので注意してください。

■ヒータ電源の投入

- ◎ヒータスイッチをONにしてください。ヒータスイッチが点灯します。
◎ヒータスイッチは5ヶあります。
下から上へ順番に投入するとヒータ発熱量の合計がわかるように印字されています。

■ファン回転制御の設定

- ◎下表の Δt を参考にして設定してください。

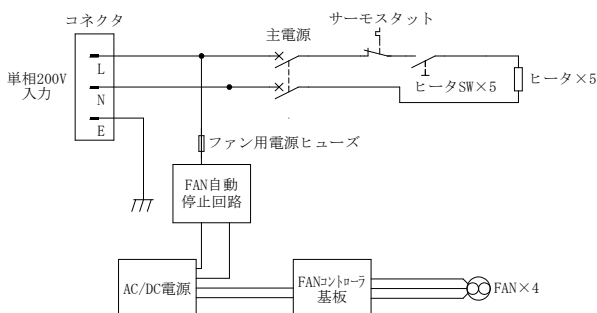
ヒータ発熱量	ファン風量		
	目盛が1の時 6.24m ³ /min	目盛が5の時 12.72m ³ /min	目盛が9の時 19.2m ³ /min
650W	Δt : 5.3	Δt : 2.6	Δt : 1.8
1300W	Δt : 8.9	Δt : 3.7	Δt : 2.8
1950W	Δt : 13.6	Δt : 6.0	Δt : 4.5
2600W	Δt : 17.7	Δt : 7.6	Δt : 6.7
3250W	Δt : 21.6	Δt : 9.6	Δt : 7.5

注) Δt は参考値です。

■主電源の遮断

- 手順1. ヒータ電源をすべてOFFにしてください。ヒータスイッチが消灯します。
手順2. 主電源スイッチをOFFにしてください。
主電源をOFF後は排熱を促すためにファンが2分間回り続けます。
やけどのおそれがありますので熱源機の外装が完全に冷めるまで触らないでください。

■内部回路ブロック図



仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社までお問い合わせください。
この説明書の内容は2021年6月現在のものです。

■S 篠原電機株式会社

大阪 東京 京都 沼津 北関東 神戸 中部 茨城 山口 金沢
URL: <http://www.shinohara-elec.co.jp>

製品・見積りに関するお問合せは…ITソリューション営業部 TEL:06-6927-0008 FAX:06-6923-8181